

平成24年度 農業高校助成事業（実践力育成助成）

事業主体名 鹿児島県立加世田常潤高等学校

そば打ち選手権入賞を目指して、スローなそば打ちの物語

1 目的

鹿児島県は意外と知られていないが、そばの生産量は全国でも上位である。そばは県内各地に栽培されており、地域内にも『金峰木花館』や『にいななまる』、『長屋そば』など地域の特産品とともにそばが供されている。しかし、かつてそれぞれの家庭で行われていた年末のそば打ちも今では随分と姿を消した。そこで、私たちは先人たちが残した道具に光をあてて、昔のそば打ちを再現したい。当然、そばの栽培も自分たちで行う。そして、来春開催される全国そば打ち選手権に出場し、入賞を狙う。

2 実施状況

(1) そば打ちの実演

地域のそば処やそば打ちの職人さんたちにそば打ちを学習した。文化祭や地域還元祭において、生徒たちが習得したそば打ちを地域の方々に還元した。この取り組みは大盛況であった。



写真 1 実演風景

(2) 全国高校生そば打ち選手権大会出場

4月5日東京ビッグサイトにて、第3回全国高校生そば打ち選手権大会に出場した。残念ながら入賞は果たせなかったが、鹿児島のそば文化を全国に発信することができた。

新聞やテレビ、ラジオでも大いに取りあげられ、生徒の励みになった。



写真2 蕎打ち選手権1

3 今後の課題、取組

そばについて学ぶ中で、製粉技術や製粉方法によるそば粉の違いや打ち方の違いなど奥の深いことがわかった。次年度以降、製粉のことについて、研究の余地がある。

また、全国大会で入賞できるよう後輩にも技術をつないで頑張りたい。



写真3 蕎打ち選手権2